

子どもとイン



小中学校で、タブレット学習がスタート!!

2021年度、全国の小・中・特別支援学校（小・中学部）の子どもたちに一人一台のタブレット（PC）端末が整備されました。そのねらいは、社会のデジタル化にともない、子どもたちに柔軟に対応する力を育てること、また学習のやり方もそれまでの一斉学習から、さまざまな子どもたちに合った学びを追求する形に変えることです。小郡市内の学校でも、タブレット学習が始まりました。

中学校では...



休校時に各家庭で授業を受けている子どもたちが映っている、先生のタブレット画面です。先生が課題を音声で出して、子どもたちは文字入力して答えています。



タブレットを使って調べたことから、図・写真や文章を利用して、自分の考えをまとめています。グループ学習にも利用して、友だちやグループごとの考えを比べることができます。



小学校では...



1年生音楽『きらきらぼし♪』の学習です。

画面の正しい鍵盤に色が付き、指使いを合わせながら弾きました。音の大きさを調節して、自分のペースで練習することができます。上手に弾くと「パチパチパチパチ」の拍手音が鳴り、さらに意欲が湧きます。



4年生総合学習『小郡☆出会い☆発見』では、来校したゲストティーチャー（GT）が、経験や車イスを使っての暮らしについて伝えてくれました。後日、左記のように自宅にいるGTが、ウェブ会議ツールを使って、さらに尋ねたい事・確かめたい事に答えてくれました。



ターネット

タブレット学習の利点

- 今までは文字や絵（手描き）での表現が、タイピングや写真、動画、デジタル絵画でも表すことができること。
- 学校に行きづらくなった子が、画面を通して、教室での学習や活動に参加できること。
- 書くことに抵抗がある子、どのように見えるか捉えにくい子への学習に活かせること。

タブレット学習の課題と対応

- 教職員のスキルアップが必要であり、校内や市全体で研修を行っている。
- 各家庭のインターネット環境によって格差が生じないよう、市として支援を行っている。

ICT教育アドバイザーの先生 (ICT教育推進のため小・中学校に派遣) に聞いてみました。

★子どもたちに伝えたいことは…

デジタル空間は、公共の空間だと認識してほしいです。例えば道路を渡る時、交通规则を守り、よく考えて渡ります。デジタル空間でも、みんなが使っている、みんなが見ているという意識をもって伝えたり表したりしてほしいです。



★おうちの人に伝えたいことは…

タブレットやPC、スマートフォンを子どもが使うときに、約束は必要です。しかし、大人が約束を押しつけるのではなく、年齢に応じて子どもと話し合っ、子どもが守れる約束を決めることが大切です。守れない時はその理由を考え、どんな約束なら守れるかを一緒に考えることもよいですね。

★先生方に伝えたいことは…

発達段階に応じて、直接経験や人と関わる力を育んだ上で、デジタル空間で自分を伝える時、その先に相手がい、どんな伝え方がいいのか、自分は良くても相手は嫌なこともあるなど、タブレット学習を通していろいろな経験をし、主体的にICTを活用できる子どもたちを育ててほしいです。

～保育所・幼稚園の先生の研修から～

新型コロナ禍で母子保健・子育て支援事業の中止や縮小の中、子育て中の保護者がネット上での子育て情報やそこで出会った子育て仲間に見つけて安心した方もいるかもしれません。しかし、どんなにオンライン化が進んでも、子育てをひとりでははいけません。子どもにとっても、親にとっても「人を見て、人として育つこと」が、大切です。

乳幼児期は、食事・排泄などの生活リズムを作る大事な時期です。乳幼児にとって、スマホ・タブレット等の画面は、眼と脳に強いダメージを与えます。また、保護者がスマホ等の画面ばかりに目を奪われると、言葉かけ・目を合わせる・反応に答えるなど子どもとのふれあいが減ります。

乳幼児期の愛着形成や成長は五感の刺激（肌触り・体温・匂い・声かけ等）から促されます。ネットの子育て情報を利用するとしても、人とのふれあい・つながりは大切にしましょう。

